

【健康科学部 看護学科】カリキュラムマップ(2023年度入学生用)

授与する学位: 学士(看護学)		ディプロマ・ポリシー															
知能・理解	幅広い視野	DP1:人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2:看護学について適切な知識や理解、そして技術を有している DP3:幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる DP4:適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5:母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6:基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7:数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる															
		汎用的能力	基本的能力	DP8:仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12:看護学の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13:看護学の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している DP14:自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成を力を備えている DP15:現代社会の諸問題を解決するために、看護学の知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる													
態度・志向性	豊かな人間性			DP8:仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる													
		統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12:看護学の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13:看護学の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している DP14:自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成を力を備えている DP15:現代社会の諸問題を解決するために、看護学の知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる													
学科目	科目の主題			科目の到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 ○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで												
		DP1	DP2		DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
人体の構造と生理機能	医療に関するすべての知識の基となる人体の構造とその働きについて理解を深める。	1.解剖学に準拠して人体の諸器官の「構造」について理解している 2.生理学に準拠して人体の諸器官の「機能」について理解している 3.外部環境に対する反応としての生命維持の仕組み、遺伝・生殖・発生、老化の仕組みの基本的理解ができる。	○	○	○												
病気の成り立ち	ヒトが病気になることにより、身体の構造と機能の変化と、それらがどのように表れるかについて学ぶ。	1.ヒトの病気の原因、病態、発症メカニズムを、先天異常と遺伝子異常・代謝障害・免疫障害・感染と炎症・腫瘍・老化の6つのカテゴリーから理解している 2.ヒトの病気の診断、治療、予防の基本的理解している。 3.各臓器ならびに組織の疾患について理解している。			○	○											
からだの防御の仕組み	病原体とその感染および感染症の基礎知識、病原体に対する身体の防御機構(免疫機能)、感染を防ぐことについて学ぶ。	1.細菌・ウイルス・真菌など病原体の知識、病原体の感染経路、身体への侵入・増殖、疾病を起こすメカニズムを理解している 2.免疫機能と、免疫機能による身体の感染防御機能を理解している。 3.感染症の診断・治療・予防の基本的理解している。	○	○													
薬理学	薬物の人体への生理的影響を看護の役割を視座に学ぶ	1.薬物の体内の動態・代謝と薬物の投与経路、作用・副作用を理解している 2.薬物の各薬理作用別に薬物の機能などを理解している 3.薬剤それぞれその作用機序や臨床応用を理解している					○										○
診断と治療Ⅰ	呼吸器・循環器・血液・造血系・内分泌・代謝・脳・神経・アレルギー・免疫系・消化器・泌尿器・生殖器・皮膚・感覚・運動器・産生機能など内科系・外科系・婦人科系の諸疾患や感染症について、徴候・検査法・診断の過程と主要な疾患の治療と予防について学び、各疾患のイメージを習得し、適切な看護を提供する知識・手法・能力を養う。	1.定記の疾患の病態・病理の基本的イメージを理解している。 2.定記の疾患の検査、治療、予防について理解している。 3.患者の病態と診断・治療を統合し、看護サービスの展開を理解している															○
診断と治療Ⅱ	老年医学・新生児・小児医学、精神医学の基礎知識、ならびに、関係する疾患の、徴候、検査法、診断の過程と主要な疾患の治療と予防について学び、適切な看護を提供する知識・手法・能力を養う	1.老年性疾患、小児・新生児・産科疾患、発達・人格障害、精神疾患の病態、病理の基本的理解している 2.老年性疾患、小児・新生児・産科疾患、発達・人格障害、精神疾患の検査、治療、予防について理解している 3.老年・小児・精神疾患の病態と診断・治療を統合して、看護サービスの展開を理解している。															○
基礎ゼミ	看護職を目指す大学教育の導入科目としての役割を担い、学術力のための基礎的な能力を養い、看護専門職を目指すための学習態度を培う。	1.大学生活をイメージでき、看護専門職者になるための主体的な学習法が理解できる 2.協同的なグループワークができる 3.物事を根拠に基づき批判的に分析、判断し、自身の主張を論理的に構成する能力を習得できる	○				○										○
公衆衛生学	公衆衛生学の歴史と健康増進と人々の暮らしにおける健康維持の役割の関係および健康指標などを学ぶ	1.公衆衛生の歴史と人々の暮らしにおける健康維持の役割を理解している 2.公衆衛生に基づいた健康施策とその役割が理解できる 3.地域の特性のアセスメントの基本的能力を習得している															○
社会保障論	社会保障制度の理念と歴史とその構造の概要を医療保険と介護保険を中心に学ぶ	1.社会保障制度の理念と歴史、社会保障の財源と費用を理解している 2.社会保障制度における社会保障と生活保護制度の連関を理解している 3.諸制度の特性および看護の関わりを理解している	○	○	○												○
ホリスティックヘルスⅠ	看護におけるヒューマンケアリングは「からだ」を統合する視点に重点を置き、統合看護やリスティックアプローチなどの考え方を学ぶ。学生自身が自分の健康やQOLについて考えセルフケア、ストレスマネジメントなどの概念を基礎として「自分を知らず」自分をケアすることの意味を学ぶ。	1.ヒューマンケアリングの基本的な考え方を理解する 2.こころの健康について理解する 3.ストレスマネジメントについて理解する			○	○											○
専門職の連携(基礎)	医療福祉機関をはじめとした地域の生活者の支援に関わる職種	1.取得を目指している資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシステムを担い、人の命を救う専門職としての資格であることを理解する 2.地域における包括的なヘルスケアシステムを担う他の専門職を理解する 3.他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる															○
生命倫理	人の生命の尊厳、基本的権利、尊厳死などについて学び、看護職としての基本的な倫理原則、倫理理論を学ぶ	1.人としての命の尊厳と基本的権利を看護の視点から理解できる 2.看護職としての倫理原則、生命・医療倫理を理解している 3.日常生活の場の問題解決を倫理的判断のもとで考察できる															○
生化学	人体の構造と機能を細胞レベルにおいて、生命現象を化学的に学ぶ	1.脂質、脂質、タンパク質およびアミノ酸その分類、機能など化学的性質を理解している 2.生体内での代謝機構と相互転換およびエネルギー生成と利用を理解している 3.核酸の性質と代謝、遺伝子の発現と遺伝子操作、ホルモン作用機序等を理解している	○	○	○												○
看護と栄養	生体・生活者としての人間理解を踏まえ、科学的な人間の生命維持過程に必要な栄養とその役割を学ぶ	1.人間の生命を維持する食品成分の栄養素が理解できている 2.栄養素の消化・吸収のしくみと健康の関係について理解している 3.人間の食行動の特性と健康教育について理解している	○	○	○												○
生物の基礎	生物や生物現象について、基礎的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を生物学的に探究する	1.細胞、生体と発生及び遺伝について理解している 2.環境と生物の反応の間に見られる仕組みや内部環境の維持を理解している 3.ヒトの成長や器官の分化の原則について理解している															○
化学の基礎	化学的な事象・現象について、基礎的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を深める	1.化学の役割や物質の扱い方について理解している 2.有機化合物の性質や変化を理解し、物質に関する基本的な概念や法則を理解している 3.物質に関する基本的な概念や法則を日常生活と関連付けて考察できることが出来る	○	○	○												○
ホリスティックヘルスⅡ	看護の中のアート、ケアリングの側面に重点を置き、1) 中医学などの伝統療法を取り入れた、統合医療・ホリスティックなアプローチや2) アロマ、セラピー、ストレスマネジメントなど、人をケアする際に、まずは自分自身のwell-beingやQOLを高めるための具体的方法について学ぶ。	1.ホリスティックヘルスの概念について理解できている 2.統合医療について理解できている 3.自身のストレスマネジメントについて理解できている	○								○	○					○

